

2019年5月27日

序章： 食わず嫌い？

PTA このワードが重—く重—くのしかかってきた瞬間。 そう今から6年前、今年6年生の長男の卒園式頃の保護者同士の会話。 「いよいよ、小学校だねえ。小学校といえば、PTA かなぁ・・・ 」と溜息交じりのやりとり。 恐らく、小学校関連のキーワードとしては、人気ワードランキングの低位、いやむしろ**不人気ワードランキングの常連上位**かと個人的には感じています。 よくも知らないのになんとなく響きが重い「PTA」。 不思議な組織ですよ(笑)？

当時の僕もそうでしたが、なんとなく**PTA って食わず嫌いな存在**になっているような気がしません？ 決してベールに包まれた**秘密結社**でもないのにどうして食わず嫌いの存在になってしまうのでしょうか？ ちょっとり考えてみました。 そしてある発見がありました(NHKの「ダーウィンが来た」ではないので、些細な発見ですが・・・笑)。 そうです。 PTA はある意味で「特異な組織」なのです。 それは子どもという第三者を通した「**間接的な組織**」だからです。

園時代は、毎日の送り迎えを通じて先生の顔も保護者の顔もなんとなくでもわかったのに小学校に入ったとたん、子どもたちは自力で通学するようになり、先生、ほかの保護者から物理的な距離が生まれます。 学校・PTA とのパイプ役は子ども経由で受け取る山のようなお手紙・・・(決して紙発行だけではないこと理解しております。 また発行者のみなさま、失礼お許しを・・・)。 構成員もよくわからない間接的な関係のPTA を理解してください、PTA ってやると楽しいので前向きに参加してください、というのは少々無理があるなぁと僕個人は感じています。

ということもあり・・・。 今後、折に触れて、僕からPTA にまつわることに関してできるだけ**わかりやすく解説**していければと思っています。 僕自身も知らない

ことが多く、勉強しながらという形になりますが、ひとりでも多くの方に**食わず嫌**

いのステージから脱却してもらえればと思っています(すでにそうでない方もたくさんいらっしゃいます。 暴言お許しを・・・)。 もちろん、食べてみただけでまずかったという方がいるかもしれません。 それでも構いません。 そこには改善に向けたヒントがあると思っています。

僕自身が、6年前、正直食わず嫌いだったPTAですが、何とか食わず嫌いからは脱却して今のお役目を冷や汗かきながらもやらせていただいています。 とはいえ、ピーマン嫌いの子どもが目をつむり、鼻を指でつまみながらピーマンを食べている程度かもしれません(笑)。

みなさんもがっつり食べなくても良いので**ピーマン少しかじってみませんか？**

今日は長くなったので本題に触れずに前置きだけにしますが、今後、定期的にPTAのウェブサイトを通じて情報発信していきますね。またPTAへのご質問、ご意見は遠慮なく、報告メールまで頂ければと思います([sakuramachi.pta.houkoku@gmail.com](mailto:sakuramachi.pta.houkoku@gmail.com))。 今日、「明るく、楽しく、元気よく」過ごしましょう。